

学生主体の発想で拓く世代間交流型の地域支援活動



【池袋キャンパス】健康メディカル学部 作業療法学科 教授

菊池 和美 Kikuchi Kazumi

URL: [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード: 学生ボランティア・ネイルケア・スマホ講座・地域交流・世代間交流・
地域包括ケア・作業療法



研究の概要

SDGs 目標 3: すべての人に健康と福祉を
SDGs 目標 11: 住み続けられるまちづくりを

本取り組みは、学生が自ら企画し、自分たちの得意分野や柔らかな発想を地域に活かすことで、世代間交流と地域の活性化につながる新しいタイプの地域貢献活動です。これまでのように「依頼された作業を手伝う」スタイルではなく、学生が主体的に活動を考え、地域の専門職と相談しながら形にしていっていったことが大きな特徴です。活動の準備段階から、作業療法士の教員が安全性や目的性に関する助言をおこない、さらに地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、区民ひろば、フレイル対策センター職員など、多くの地域の方々にご協力いただきました。

2024 年度の「スマートフォン講座」では、学生が若者らしい視点から、分かりやすく操作説明をしたことで、高齢者の方のデジタル生活の不安が解消され、生活の利便性向上に結びつきました。「若い人に教えてもらおうと不思議とできる」という声もあり、学生は ICT に対する高齢者の関心の高さを学ぶとなりました。2025 年度のネイルケア企画は、学生が「高齢者の生活に気軽な楽しみを」という思いから生まれました。100 円～200 円程度の材料を使った、シンプルで負担の少ない“お手軽ネイル”を提案し、「こんなに簡単ならやってみよう」「気分が明るくなる」といった喜びの声をいただきました。ネイルをしている間の“おしゃべり時間”では、地域の歴史や暮らしの知恵をうかがう機会も生まれ、学生にとっては、教室では得られない実践的な学びの場となりました。

活動を通して、学生は「生活背景を理解する力」「説明の工夫」「状況判断」といった、作業療法士に必要な力を自然に身につけています。また、このような地域での交流支援は、今後作業療法士が活躍する新しい領域としても期待されており、学生のキャリア形成にも大きく役立つ取り組みです。本活動は、学生の創造性と地域の実情が結びついて生まれた、新しい地域支援モデルとして位置づけられます。2026 年度以降も企画を募集し、地域の方々と協力しながら、活動を広げていきたいと考えています。

多世代交流 と 地域参加の
チャンス

豊島区にお住いの高齢者向けの教室です

**スマホ教室ボランティア
スタッフ募集**

スマホの初歩的な操作のお手伝いをお願いします



学生主催

**ネイル体験
+おしゃべり
サロン**

～簡単におしゃれを
楽しもう!～



開催日時: 9/20,10/18,11/15



実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

【実学へのつながり】学生が主体的に企画し地域の方と関わることで、教室では得られないコミュニケーション力や説明力、活動の組み立て方を実践的に学ぶことができます。ネイルやスマホ等の身近なテーマから、高齢者の生活背景や地域の文化を理解する機会が生まれ、作業療法の専門性を実感しながら学修を深めることができます。

【産業界・自治体へのアピールポイント】本活動は、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターなど地域の社会資源と連携し、若者の力を活かした新しい地域支援モデルとして展開し、多様な分野へ応用できる可能性があり、自治体にとっても、交流促進・フレイル予防の施策と連動しやすい取り組みです。

【協力可能事項】地域イベントの企画協力、学生による ICT 支援、交流プログラムの開発、活動の記録・評価、地域課題の分析など、多様な形で地域や団体の皆様と協働できます。

【協力希望事項】地域の専門職や自治体との継続的な連携、高齢者との交流の場の確保、活動場所の提供、企画へのアドバイスなどをご協力いただけると、より継続的で実りある取り組みに発展できます。